

Unix の基本コマンド

- ▶ 現在地を表示 `pwd`
- ▶ ファイルの一覧を見る `ls`
- ▶ 現在地の移動 `cd`
- ▶ テキストファイルの中身を見る `cat`
- ▶ テキストファイルの中身を見る `more`
- ▶ ファイルの複製 `cp`
- ▶ ファイルの削除 `rm`
- ▶ ファイルの名前変更/移動 `mv`
- ▶ ディレクトリの作成 `mkdir`
- ▶ ディレクトリの削除 `rmdir`

現在地を表示 `pwd`

カレントディレクトリを表示

```
$ pwd
```

ファイル一覧を見る ls

カレントディレクトリにあるファイルの一覧を表示

```
$ ls
```

ファイルの作成日時やサイズなどの情報も表示

```
$ ls -l
```

現在地の移動 cd

ディレクトリ `dirname` に移動する

```
$ cd dirname
```

- ▶ `dirname` は絶対パスまたは相対パスで指定

`dirname` を省略するとホームディレクトリに移動する

```
$ cd
```

テキストファイルの中身を見る `cat`

ファイル `filename` の中身を表示する

```
$ cat filename
```

- ▶ バイナリファイルを `cat` で表示してはならない
(たいへんなことになります)

テキストファイルの中身を見る `more`

ファイル `filename` の中身を表示する

```
$ more filename
```

- ▶ バイナリファイルを `more` で表示してはならない
(たいへんなことになります)
- ▶ スペース 1 ページ進む
- ▶ `b` 1 ページ戻る
- ▶ `q` 終了

ファイルの複製 `cp`

file1 と同じ中身を持つ file2 という名前のファイルを作成する

```
$ cp file1 file2
```

- ▶ コマンド実行前は file1 が存在
- ▶ コマンド実行後は file1 と file2 が存在

ファイルの削除 `rm`

ファイル `filename` を削除する

```
$ rm filename
```

- ▶ コマンド実行前は `filename` が存在
- ▶ コマンド実行後に `filename` は存在しない

ファイルの名前変更/移動 mv

file1 を file2 という名前に変更する

```
$ mv file1 file2
```

- ▶ コマンド実行前は file1 が存在
- ▶ コマンド実行後に file2 が存在 (file1 は存在しない)

dir1 にある file0 を dir2 に移動する

```
$ mv dir1/file0 dir2/file0
```

- ▶ この例だとファイルの名前 (file0) は変更されず、ディレクトリのみが変更 (dir1→dir2) される

ディレクトリの作成 `mkdir`

ディレクトリ `dirname` を作成する

```
$ mkdir dirname
```

ディレクトリの削除 `rmdir`

ディレクトリ `dirname` を削除する

```
$ rmdir dirname
```